

授業改善書

科目名	保育内容の研究（表現-身体） I
担当者	古川 彩香

授業の概要

子どもの身体を理解するためには、学生自身の身体を理解することが必要である。学生自身が身体を通じた表現を経験する事で、自由発想やイメージによる自己表現を体験し、表現者としての自己成長及び、他者の表現を認め合う姿勢を養う。保育者として子どもの表現活動を指導・援助できる能力を養うことを目的とし、授業を展開していく。また、舞台発表会での演技や運動会でのダンスを創作し指導できるように、実践的な授業を行う。

授業の問題点

学生による授業アンケートの評価結果にもとづくと、当授業の問題点はノート活用方法（「ノートをとりましたか」の質問得点が4. 12点。項目の中で最低）にある。また、学生の主体的な学習取り組み（「質問や発言をしましたか」（4. 38点）がこれに続く。アンケート結果をそのまま理解した場合の、本授業の問題点である。

学生の授業満足度

学生による授業アンケートの授業満足度の平均は4. 69点となり、学生の授業満足度は高いと判断すべきである。学生の出席に対する「出席しましたか」（4. 73点）のスコアも高く、これは学生の高い満足度と強く相関を持っている数字であると判断できる。特に、満足した点としてあげられていたのが、シラバスに沿った授業展開や毎回の授業テーマの明確性が授業への取り組みやすさと理解促進を促したと考えられる。教員の実感としても、学生と教員が共通目標や目的をもって取り組む事ができ、保育士として物事を子どもに伝える際の視点に学生たちが立って取り組む姿勢が授業を通して培われていたと見受けられた。

授業改善の課題と方策

上記をまとめると、授業の課題は、「ノートをとりましたか」の部分である。つまり、今後の方策として、実技を伴う演習授業であるが、更なる配布プリントの工夫やノート記述の時間の確保、また課題等による時間外学習の提示などの手法をとりたい。質問や発言に関する得点も低い事から、適宜、学生と質疑応答の時間を設け、学生がより積極的に授業に対する質問や疑問を発言できるよう授業を進行することも必要であると考えられる。以上によって、考察や自分の意見を発言しやすい学習環境の整備を行う事で、より円滑な授業展開を達成したい。

その他

特になし